

三輪の結

学校だより

第 5 号
令和 4 年 9 月 12 日

学校が大切にしている「規律・学力・自己有用感」

新型コロナウイルス感染症の影響が広範で予断を許さない中、2学期がスタートしました。長引く感染対策による制限が、子供たちに与える影響について危惧をしているところでもありました。

しかし、変わらぬ笑顔と一回りたくましくなった姿、時間をかけて取り組んだことが伺える夏休みの作品、そして楽しかった思い出を抱えて元気に登校してくれたことなど、本当にうれしく思いました。

2学期もそれぞれが目標をもつことが大事です。また、一人一人の目標と併せて、大門小学校全体で頑張る今学期の目標にも、しっかり取り組んでほしいと願っています。それは・・・

- ・場に応じた挨拶や返事がいつでもどこでもできること
- ・学習用具を揃えることや授業中の姿勢に気を付けてのぞむこと
- ・いろいろ運動に進んで取り組み、元気でいること

です。

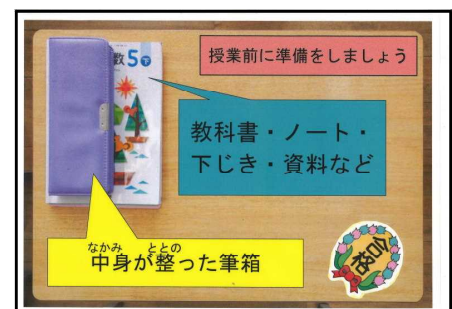
これらは本校の「アクションプラン」です。「アクションプラン」は、学校が大切にしている「規律・学力・自己有用感」を育むため、基礎的な生活習慣や行動規範を身に付けるところからアプローチするものです。

例えば、「姿勢」一つ取り上げても、授業中正しい姿勢を保つことができなければ、「分かる授業」でも集中力が途切れ、しまいには授業に参加できず「分からなくなること」につながっていきます。今、そして将来に、子供たちが困らないように、2学期は下記のような方策を1学期にプラスαして下記の【1】～【3】に取り組んでいきます。

- 【1】校時表を見直し「長休み」をつくりました。まずは、子供たちに少しでもゆとりのある学校生活を。それで、授業に集中できたり、友達と関わったり、多様な運動に取り組んだりできるようにと考えました。そして、3時間目が始まる前に、毎日「体感運動の時間」を確保しました。
- 【2】生活安全委員会からの呼びかけや、「よい行いが自慢できる大門小学校」のスローガンのもと、日々の挨拶を大切にします。また、自らの挨拶を定期的に自己評価し、成長を実感できるようにする。「よい挨拶」は「よい行い」として「大ちゃんシール」で認められます。
- 【3】学習用具を揃えて授業にのぞむために、「モデルとなる写真」を各教室に掲示。習慣化できるまで呼びかけます。できた学級から、自己申告してもらいます。



校時表 (令和4年度) 2学期～		
	月・短縮	火・水・木・金
朝活動		8:15～8:30
朝の会 健康観察	8:15～8:25	8:30～8:40
1	8:25～9:10	8:40～9:25
2	9:15～10:00	9:30～10:15
長休み	10:00～10:15	10:15～10:30
3	10:15～11:00	10:35～11:20
4	11:10～11:55	11:30～12:15





大門小学校のビオトープで、カルガモが誕生！！

皆さんに愛されている、学校の自慢のビオトープ。なんとそこに、カルガモのお母さんがやってきて卵を産み、2週間ほど温め、その卵から10羽ものひなが誕生したのです。よくテレビで話題となるカルガモの親子がいたのです。

ビオトープをいつも見守ってくださっている田村さんが発見されました。その時の貴重な映像をいただき、また、こんな話をしてくださいました。

「大門小学校のビオトープは、大門の自然の豊かさを残したい、子供たちに知ってほしいと願って作られた池です。たいへん貴重な魚や植物が生息しています。しかし、やっぱり、人の手で作った池ですから、自然にある川や池のように、もっといろいろな生き物がやってくる、そんな場所にはならないのだな、無理だなと思っていました。

しかし、カルガモのお母さんが、ここで卵を産みたい、巣を作っても大丈夫だと、大門小学校のビオトープを選んでくれたんだ。これって、大門小学校のビオトープが、自然にとっても近い状態だということを証明してくれたんです。」と。

私にとっても、驚きと嬉しい気持ちでいっぱいでした。

始業式に映像を見せながら、子供たちにはこんな話をしました。

「川や用水、田んぼ、池等は、どこにだってあるはずですが。鳥は飛ぶことができるので、どこへだって行けます。なのに、大門小学校を気に入ってくれた。『よいところだ』と選んでくれた。これって、ものすごい自慢ではないでしょうか？

カルガモが改めて教えてくれた、豊かな自然が残るふるさと、大門小学校。そんな学校で毎日生活できることに感謝し、来年もまたカルガモが来てくれるよう、ビオトープや池の自然、水槽の魚たちも含めて、大切にしていきたいと思います。」

